

垂水ブリ・カンパチ 一緒に井 道の駅と漁協で販売へ



垂水市の二つの道の駅と漁協食堂は22日、「ぶり・かんぱち井」の販売を始め。牛根、垂水市の両漁協のブランド魚「ぶり大将」と「海の桜勘」を一度に楽しめる。持ち帰りのみで500円。来年3月まで。市の新型コロナウイルス対策事業で、通常より300円安く設定した。牛根漁協は「ブリはまろやかな甘みがある。食べ比べを楽しんで」。垂水市漁協は「生

産量も品質も日本一のカンパチ。コリコリした食感を味わって」とアピールする。初日は3カ所で販売し、以降は曜日限定になる。道の駅たるみずはまびら10994(45)572711は第2日曜とイベント実施日の午前9時から120食。道の駅たるみず湯つ足り館11同(34)223711は第4土曜、漁協食堂、味処海の桜勘11同(32)032111は第4木曜のいずれも午前11時から40食を用意する。

5000円で販売される「ぶり・かんぱち井」は垂水市海潟の味処海の桜勘

2021年7月21日付14面

【問1】「ぶり・かんぱち井」はどこで販売が始まったでしょうか。

【問2】垂水市の両漁協のブランド魚の名前は何かでしょうか。

【問3】通常より300円安く値段を設定できたのはなぜでしょうか。

【問4】両漁協とはどこどこでしょうか。

【調べてみよう】身近な地域の特産物について、調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

垂水(たるみず) 食堂(しょくどう) 井(どん) 販売(はんばい) 大将(たいしょう) 桜勘(おうかん) 新型(しんがた) 対策(たいさく) 通常(つうじょう) 設定(せつてい) 甘(あまみ) 比べ(くらべ) 品質(ひんしつ) 以降(いこう) 限定(げんてい) 実施(じっし) 処(ところ)



垂水ブリ・カンパチ 一緒に丼 道の駅と漁協で販売へ



垂水市の二つの道の駅と漁協食堂は22日、「ぶり・かんぱち丼」の販売を始め。牛根、垂水市の両漁協のブランド魚「ぶり大将」と「海の桜勘」を一度に楽しめる。持ち帰りのみで500円。来年3月まで。市の新型コロナウイルス対策事業で、通常より300円安く設定した。牛根漁協は「ブリはまろやかな甘みがある。食べ比べを楽しんで」。垂水市漁協は「生

産量も品質も日本一のカンパチ。コリコリした食感を味わって」とアピールする。初日は3カ所で販売し、以降は曜日限定になる。道の駅たるみずはまびら110994(45)572711は第2日曜とイベント実施日の午前9時から120食。道の駅たるみず湯つ足り館11同(34)223711は第4土曜、漁協食堂、味処海の桜勘11同(32)032111は第4木曜のいずれも午前11時から40食を用意する。

5000円で販売される「ぶり・かんぱち丼」は垂水市海潟の味処海の桜勘

2021年7月21日付14面

【問1】「ぶり・かんぱち丼」はどこで販売が始まったでしょうか。

垂水市の2つの道の駅と漁協食堂

【問2】垂水市の両漁協のブランド魚の名前は何でしょうか。

「ぶり大将」と「海の桜勘」

【問3】通常より300円安く値段を設定できたのはなぜでしょうか。

市の新型コロナウイルス対策事業のため

【問4】両漁協とはどこどこでしょうか。

牛根漁協と垂水市漁協

【調べてみよう】身近な地域の特産物について、調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

垂水(たる・みず) 食堂(しょく・どう) 丼(どん) 販売(はん・ばい) 大将(たい・しょう) 桜勘(おう・かん) 新型(しん・がた) 対策(たい・さく) 通常(つう・じょう) 設定(せつ・てい) 甘(あま)み 比(くら)べ 品質(ひん・しつ) 以降(い・こう) 限定(げん・てい) 実施(じっ・し) 処(ところ)

